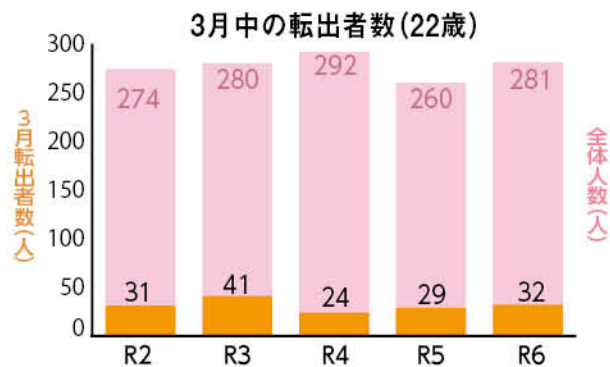




全国的にも問題視されている人口減少、若者の町外流出。私自身、東京で働いていたので気持ちはわかります。私は玩具開発に携わり



街角特派員
小野澤 貴之

(天王元宿・5区)

Profile●おのざわ・たかゆき
玩具開発サポートKAZUNOKOの代表。子どもの頃からおもちゃ屋の店主に憧れ、趣味が高じて玩具を開発する仕事をようになりました。町や群馬に関連したオリジナルグッズをシンボルタワーのミニショップで販売しています。

たいと思っていますでしたが、地元で仕事が見つからなかったため都内で就職しました。若者が都内で就職してしまうのは、やりたい仕事がないからではないかと感じます。そこで、できないなら、自分で起業するのも一つの手段だと思ってほしいと思います。街角特派員になって起業もありだと伝えられたらと思います。

起業した人たちと座談会

私も起業をしています。私の経験談ではなく、町で起業をした人たちに座談会形式で話を聞いてみようと思います。そうすることで、さまざまな業種の起業や起業に対する考え方を、知るきっかけになると考えました。私もそうでしたが、何かきっかけがあれば、考え方や行動が変化すると思います。

町で活動する個人事業主たちと座談会



ゆりか
田村 友莉香さん

ゆう
飯塚 由宇さん

ゆきこ
間中 幸子さん

なぜ起業しようと思ったのか

小野澤 皆さん、お集まりいただきありがとうございます。早速ですが、皆さんが起業しようと思った理由を教えてください。

間中 もともと、太田市のデザイン会社に勤めていました。ですが、子どもが小さいことや親の通院などで休むことが増え、会社に申しわけなくなり、起業を選びました。

田村 私も子どもが小さかったことや前職が警備会社で残業が多かったことから、家族との時間をつくるために起業しました。

飯塚 私は父の会社に入ったので起業ではないですが、町に残って働くことを選びました。

小野澤 皆さん、さまざまな経緯があつて今があるんですね。ちなみに私は一番最初はガレージの販売の営業をしていました。その後、玩具関係の仕事がしたいという気持ちが強くなって、都内の玩具開発の会社に転職しました。ですが、転職した会社が解散することになり、起業をしました。

飯塚 そういえば皆さんって、どんなお仕事をしているんですか。

小野澤 そうでした。皆さんがどんな仕事をしているか、詳しい内容は次のページで紹介します。

街角特派員レポート

～やりたかったことをこの町で～

そうだ！ 起業も ありだ！

人口減少

若者の町外流出

やりたいことができない……

それでも、 できることはないか

街角特派員とは

街角特派員は、読者の皆さんの代表です。各自が「広報おうら」にレポートを掲載。広報担当者と共同で作り上げるレポートです。町づくりへの意見や気になる事業の進捗状況、または自分が皆さんにアピールしたいことなど、街角特派員が伝えていきます。



チャックル
Chuckles

クスッと笑えるデザイン 笑顔の連鎖を意識

グラフィックデザインやウェブデザイン、キャラクターデザインやイラストなどを手がけています。実は町の公式キャラクターの『オーランドさん』をデザインしたのは私です。幼少期から絵を描くことが好きで、ずっとデザインに携わっています。お客様の要望に応えることはもちろんですが、クスッと笑える要素を取り入れることを意識しています。私のデザインが依頼主のお客様まで笑顔になるような、笑顔の連鎖が続くことがモットー。また、私の仕事はパソコン1台あれば日本全国や海外問わずお仕事ができます。Chucklesのデザインを世界に発信していくことが今後の目標です。



間中 幸子さん
Manaka Yukiko
(天王元宿・5区)



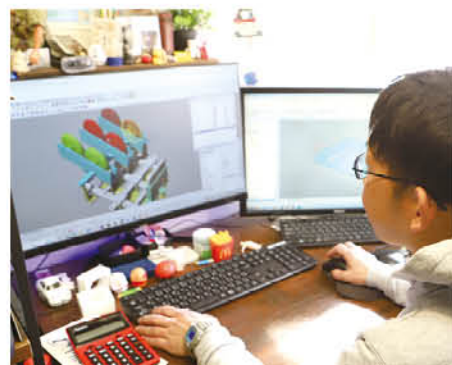
小野澤 貴之
Onozawa Takayuki
(天王元宿・5区)



玩具開発サポートKAZUNOKO

未来の若者たちのために 町を盛り上げたい

地域の皆様からは、町と群馬グッズを作ってシンボルタワーのミニショップで販売している人と認識されつつあると思います。ですが、それは仮の姿で個人事業主になった今も、前職の国内玩具メーカー様との仕事を継続中。玩具の請負開発を行い設計図や試作品を作っています。都内に通っていたときは毎日往復4時間電車で揺られ、家には寝に帰る生活でした。しかし、起業したことで通勤時間を仕事に使えるようになり、メーカー様からはスピード感を買われるように。会社員時代より一層忙しくなりましたが、未来の若者たちへ何か遺していきたいと町を盛り上げる活動もしています。



ウィングル クリーン サービス
WINGLE CLEAN SERVICE

クリーニングで人を幸せに 県内1の会社へ

アパートの空室やお店などのハウスクリーニングやエアコン、水回りのクリーニングを行っています。建築の専門学校に通っているときに友達からビジネスの楽しさを学び経営に興味を持つように。その際に、父の会社を自分自身の努力で拡大したいという気持ちが芽生えたこと、掃除を通して人を幸せにできることに気付いて父の会社に入社しました。今後は県内で1番信頼できるハウスクリーニング会社を目指します。まずは、仕事は一つ一つを丁寧に行いお客様に満足してもらうこと、また、仕事を待ただけでなくイベントに参加して自社のアピールを徹底していきます。



飯塚 由宇さん
Iizuka Yu
(鶯下・13区)



ハチドリ hachidori

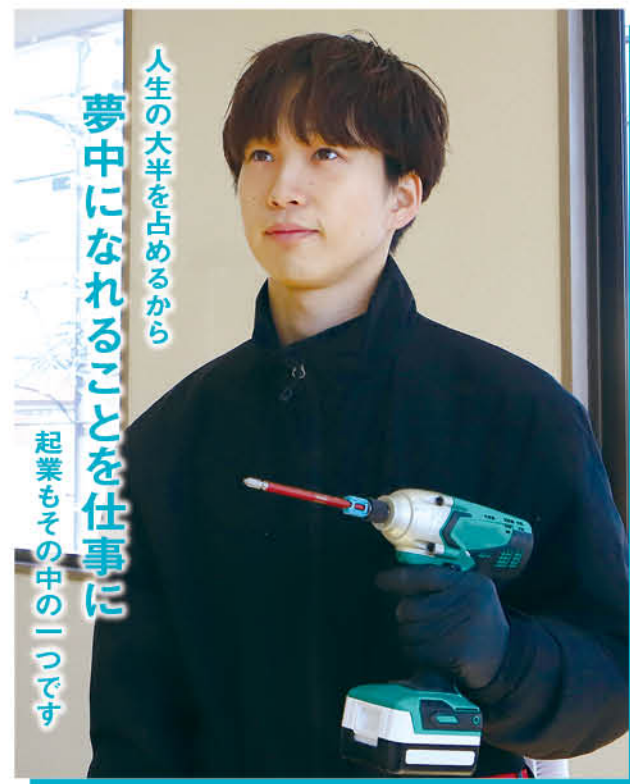
誰もが楽しめる イベントの企画運営

イベントの企画運営を行っています。前職が警備会社でイベントの警備をすることがよくありました。その際に、どんなイベントをしているのか、運営側の人員はどの程度必要か、集客が見込める人気のイベントはどんなものかなどを研究することができました。前職で培ったノウハウを生かし、関東一円でほぼ毎週イベントを開催中。また、イベントの周知はチラシやSNSを活用し、当日もイベント会場を動画で配信しています。今後、企画を予定しているイベントは、幅広い世代の人が楽しめるスポーツイベントと、日本に住む外国人の人が主役になれるようなイベントです。



田村 友莉香さん
Tamura Yurika
(下中野・1区)





街角特派員レポート編集後記
今回、街角特派員でレポートをして、他の人の起業のきっかけや起業サポートなどがあることを知りました。私が起業したときは、個人事業主の知り合いも少なく、情報が少なかったため、当時知っていたら後押しになっていたと思う。私は現在起業3年目で、会社員時代と同じ仕事をしていましたが、当時のモチベーションとはまったく違います。全て自分の責任となりますが、その分注いだ情熱は全て自分にプラスとなって帰ってきます。また、常に町にいることで町の様子が見渡せたり、地域の人たちとの交流も増えたり、心も豊かになったりと、いろいろなアイデアが生まれるように。

私がある日突然起業することになったように、先の未来は考えてもシナリオ通りに進むとは限りません。一度きりの人生です。自分が生まれ育ち、愛する邑楽町から、新たな冒険者が誕生するきっかけになれば、仲間たちとともにこのレポートを作ったたいがあります。迷ったときはいつでも相談してください。

そうだ！
起業もありだ！
完



座談会をやってみて
間中 皆さん、面白い仕事をしてますね。起業した人たちと話す機会も少ないので、楽しい時間になりました。
田村 本当にそう思いました。初めて座談会をやってみました。今後定期的にお話したいです。
飯塚 私と同じような年代の人も参加してみたいんじゃないかとも思いました。起業するきっかけやヒントが見つかるんじゃないかなと思います。
小野澤 それもいいですね。就職活動では、合同説明会や個別の会社説明会などがありますが、起業した人たちと話す場ってなかなかないです。私も若いときにこのような場があれば、もっと早く起業していましたね。
間中 確かにそうですね。私もそうやっていたかもしれません。ただ、会社員時代の経験も生きていることってありませんか。



田村 私には起業するときに町の支援制度を使いましたよ。
田村 そうですね。名刺交換やメールの送り方など社会人としての基礎を覚えられたのは、会社員時代の経験です。小野澤 すぐに起業もいいけど、会社員を経験することいい経験になりますね。あと起業するときに結構お金が必要になります。田村 確かに結構かかりますよね。今の時代はいろいろな情報を手に入れやすいから、探せばコストを下げることもできますが、お金はかかりましたね。
田村 私は起業するときに町の支援制度を使いましたよ。



飯塚 良い制度ですね。仕事は人生の大半を占めると思うので、せっかくなら自分のやりたいことを仕事にしたいと皆さん思っていると思います。ただ、起業は『大変』とか『お金がかかる』といった先入観で諦めてしまう人もいます。中で、支援制度は起業することの1歩目を出しやすくなりますね。
田村 そうですね。制度を使ったのが数年前なので詳しい内容は覚えていないのですが...でも、役場の商工振興課に行けば丁寧に教えてくれますよ。
小野澤 なるほど...。座談会は閉めますが、またこのような機会をつくって意見交換をしていきたいと思っています。私は未来の起業する人のために起業支援などについて聞くため、役場商工振興課に行っています。本日はお集まりいただき、ありがとうございました。

県や町の支援制度

町創業支援事業補助金	
対象者の主な要件 (全てに該当)	・創業を予定している人、または交付申請時において創業の日から30日を経過していない人 ・3年以上継続して営業する見込みがある人 ・ぐんま創業スクールを受講し、町の証明書の発行を受ける予定の人、または受けた人
補助額・補助率	上限100万円・起業に要する対象経費の2分の1
補助対象経費	広告宣伝費、印刷製本費、店舗等改修費、設備や備品購入費など

ぐんま創業スクール ※今年度実施内容	
日程(全5回) ※いずれも日曜日	・前橋会場 10月～11月 ・安中会場 11月～12月
時間	午前10時～午後4時
定員・参加費	各会場40人程度・無料
対象者	1年以内に県内で創業を予定していて、すべての日程に参加できる人

県起業支援金 ※今年度実施内容	
対象者の主な要件 (全てに該当)	・県内で個人事業の開業届出もしくは株式会社などの法人の設立を行い、その代表者となる人 ・県内に居住している人、または、事業期間完了日までに居住する予定の人など
対象事業の主な要件 (全てに該当)	・地域の課題の解決に資する社会的事業 ・県内で実施する事業など
補助額・補助率	上限200万円・起業に要する対象経費の2分の1
補助対象経費	人件費、店舗等借入費、設備費、原材料費、マーケティング調査費、広報費、外注費など



役場商工振興課
主事 宮崎海成

役場商工振興課で聞いてみた
県や町の支援制度はこちらの表になります。県起業支援金とぐんま創業スクールは今年度の実施内容を紹介しています。来年度の詳細は今後、決まり次第お知らせします。詳しくは役場商工振興課までお問い合わせください。

問合先 ☎47-5026



県起業支援金



町創業支援事業補助金



ぐんま創業スクール